

民主島根

2023年
7.30
第1430号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

豪雨災害から県民の命と安全を守れ 防災・減災対策の抜本的強化を

党県議団、むらほ 衆院1区 らが県に要請

8日から断続的に続いた記録的大雨で河川の水位上昇による浸水被害や農地・農業用施設、農作物(野菜や果物、水稲等)などへの被害発生を受け、日本共産党県議団は21日、県に対し、被災者の生活再建支援や従来の延長線上ではない防災・減災対策の抜本的強化を要請しました。

尾村利成県議は、年金が下がり、物価が上がるも、支援対象の拡充など積極的な支援策を講じるよう強く要望しました。

大國陽介県議は、同じ地域での浸水被害が繰り返されていると指摘。要請では、▽県独自の被災者生活再建支援制度の拡充▽農作物被害の十分な補償、農地や農業施設の復旧にかかる農家負担の免除・減免

▽県の河川整備、砂防関係予算の増額▽河川改修など整備計画、進捗状況の住民への周知―など16項目を求めました。

森本敬史防災部長は「現在も調査することによって被害が広範囲に及んでいる。出雲市は災害救助法を適用した。全力で復旧・復興に

行政が抜本的対策を

松江水害

むらほ 衆院1区 予定候補 らに住民要望

島根県東部が8日に大雨被害を受ける中、日本共産党の、むらほえりこ衆院

3日、松江市中心部の黒田・春日地区の被災者を見舞い、要望を聞きました。同地区は豪雨のたびに河川・水路が氾濫し、道路の冠水や家屋の浸水被害が

取り組んでいく」と述べ、党県議団が求めた要望については「今後の対応の参考にさせて頂きたい」と応じました。

むらほえりこ衆院島根1区予定候補、松江市の舟木健治、橋ふみ両市議、出雲市の後藤由美市議が同席しました。

発生しています。13日も局地的に激しい雨が降る中、比津町自治会の中村清志会長は「今回も床下浸水が発生した。災害ライブカメラの増設は歓迎する。この間、自治会として年2回の河川清掃

に掘削を実施し、護岸のかさ上げなど抜本的な対策



要請する、むらほ衆院島根1区予定候補と地方議員(県庁)



中村自治会長(右から2人目)から話を聞く、むらほ氏(左端)ら(松江市)



国民平和大行進 核兵器のない世界の実現を — 県庁・県議会を表敬訪問 —

20日に鳥取県から島根県入りした原水爆禁止国民平和大行進(富山―広島コース)で、通し行進者の山内金久氏と原水爆禁止島根県協議会の西尾幸子代表理事、多和田昭代氏、徳永和洋事務局長の4氏が21日、県庁と県議会を訪ねました。(写真)

山内氏は「通し行進の中で、核兵器廃絶や平和の思いを託されてきた。核のない世界の実現に向けて頑張りたい」と語りました。柳楽ひとみ総務部次長、県議会の奈良井浩人事務局長、渡部浩二事務局長が激励しました。



日本共産党創立101周年を迎えた15日、松江市では、むらほえりこ衆院島根1区予定候補、上代善雄県議員長、尾村利成県議、岩田剛東部地区委員長、松江市議団が宣伝しました。反戦平和を貫いてきた党の歴史を紹介し、衆院選で党躍進を勝ち取るために奮闘すると訴えました。(写真)

江 党創立101周年記念日に宣伝 むらほ氏、上代県委員長ら先頭に

を願っていた」と述べました。むらほ氏は「激甚化・頻発化する災害に備えた防災対策が必要。既存の対策を総点検し、計画の見直しと強化が求められる」と話しました。

一部破損1棟、床上浸水6棟、床下浸水30棟の被害(11日現在)が出た出雲市では、大國県議、後藤由美、吉井安見の両市議がこの間、被災状況を調査して回りました。

鼓動

停滞する梅雨前線の影響で、島根県内においても豪雨に見舞われ、県東部では7月8日、集中豪雨をもたらし線状降水帯が発生し、県内では浸水などの住家被害やハウス浸水・冠水や畑への土砂流入・冠水被害によって、トマトや青ネギ、アスパラガスなどの野菜、ブドウやイチジク、柿などの果物、水稲などにも被害が及んだ。線状降水帯は、今年も全国各地で発生し、その脅威は毎年ものになりつつある。気象庁は6月、理化学研究所のスーパーコンピュータ「富岳」(神戸市)を使って線状降水帯の発生を予測する実証実験を全国規模で始めると明らかにした。同庁は昨年、発生の日前に線状降水帯を予測する取り組みを開始。現在のスパコンでは、主に全国を5°×5°四方のマスキに区切ったモデルで計算しているが、昨年7、9月に発表した13回の予報うち、的中は3回のみだったという。同庁などは、富岳の処理能力を生かしてマスキを1°×1°四方まで細かくしたモデルを開発。10月までに行う実証実験では、新モデルを使って予測し、予測の成否をフィードバックさせることでさらに高精度化を図るとい